

# 介護体験を



## 聞く会



ホームページ  
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

うつ病と食生活の改善を目的とし、デイサービスに通われている方です。うつ病は内服薬を継続してはいますが、社会交流により安定してきています。しかし、食生活の乱れが改善されておらず、体重が低下傾向にあります。今後食生活の改善と体調管理を行って行くべき検討させて頂きました。又、御本人、御家族と向き合う中で気付いた事があり、皆さんに情報提供をしていけたらと思います。

### 第159回介護体験を聞く会

平成27年3月28日

(土)に開催

- ① Iさんの事例検討
- ② デイケア・デイサービス家族相談

出席者 (職員) 院長・柳田CM・柏倉・古谷・太田・漆原・木原・前田・八馬・飯田  
出席者 (家族) 藤田様・野々目様・柳澤様・吉川様・菊池様  
出席者 (事業所) 多田様 (川崎中央はりきゅう)

院) 越智様 (しおん地域包括支援センター) 斎藤様 (メルシーダイキ・福祉用具)  
「検討内容」  
氏名・Iさん 女性78歳  
介護度は要介護I  
施設利用状況 柳田デイサービス 週3回利用  
利用開始日 平成26年8月27日  
性格 内向的 近所づきあいは得意ではない、周りに合わせられる性格  
主介護者は 次男  
既往歴は うつ病 高血圧  
内服薬は プロプレス

会報第158号

平成27年4月20日発行

発行所 (有) 明寿会

住所 川崎区中島1-13-3

電話 044-233-0061

\*定例会は最終土曜日です。

(今月は4月25日)です

(血圧を下げる薬) サインバルタカプセル (うつ病の薬)

\*生い立ち

昭和12年1月1日

東京都大田区生まれ。高校卒業後に母が三越の呉服部に勤めていた為、自宅にてその仕事を本人が50歳頃まで手伝っていた。22歳の時、親のすすめで近所の方と結婚し、長男、次男を授かる。

平成24年夫が亡くなる。

平成25年2月長男が交通事故にて車イス生活となり、同年秋より意欲低下が出現し、長男の嫁の実家に申し訳ないと思いつめるようになる。その後意欲低下が顕著となり、引きこもるようになり、飲酒行動もふえるようになってきた。平成26年6月次男が区役所に相談し、精神科医師の訪問診



デイサービス室で集団体操

療をうけ、うつ病と診断される。うつ病による引きこもり生活からの脱却と自宅での食生活の乱れを改善する目的でデイサービスの利用が開始となる。

\*デイサービスでの様子  
来室時の血圧が高いため、お菓子とお茶を摂っていたが、持参した朝の薬を内服して頂きます。歩行は自立ではありませんが、2月頃より背中を丸め小刻み歩行で何かに捕まりながら歩かれる事が多くなってきました。朝の会や午後の創作にはとても意欲的に参加して下さっ

ています。食事は毎回完食され、食後はみなさんの食器をスタッフと洗っていただきます。

日常的に便秘と下痢を繰り返しているため、デイサービスでも10回前後お手洗いに通われる事が時折あります。利用開始から現在にいたるまで、デイサービス内で便失敗が2回あります。2回とも昼食後、便意があり、お手洗いにいきますが、間に合わなかったのが理由です。

\*ご家庭での様子

日中は独居であり、食生活は乱れています。朝はコーヒーのみでデイサービスの利用日でない日の昼はコンビニで好きなものを買って食べています。夕食は元々お酒が好きな方であり、毎日ハイボールなどを1リットル飲み、コンビニで買ったお弁当やお菓子・おつまみ・パンなどを食べています。掃除や洗濯は同居している家族の分も行ってくれていますが、以前のようにには充分に出来ていません。時折、尿・便の失敗をご自宅でもされている



色たすきで輪になつてうたう

との事です。

\*今後に向けて

うつ病は内服薬を継続中ではありますが、社交交流により表情も明るくなり改善されています。ご家族から、お漏らしをする事がたまにある為、オムツを履くように言い聞かせて欲しい。又、酒の害を言い聞かせて欲しい。認知症が進行してきていると感じるので、デイサービスでは様々な仕事を頂きました。デイサービスとしては、食生活の改善をまず第一と考えています。体重40キロを目標としています。

間はかかりそうです。風邪を引かれるとなかなか治らないのも、食生活の乱れによる抵抗力の低下が考えられます。

まずはデイサービス利用日の朝食をしつかり摂れるように、家族と協力し目ざしていきます。食生活の改善とアルコールの減量に至れば、便秘と下痢を繰り返すこともなくなる可能性があり、便の失敗もなくなるかもしれません。すぐにオムツという選択をせずに本人の自尊心を傷つけないようなケアの方法を模索していきたいです。

又、家族も心配している認知症の進行を抑制できるようにデイサービスの利用を継続して頂けるようにサポートしていきます。

デイケア・デイサービス 家族相談

\*吉川様・食生活が安定してきたら喋るようになった。食べてくれるようになったら脳の働きが良くなった。食生活は大事だと思えます。

菊池様・母は施設に入っているから安心だが、今は父のことが心配です。野々目様・ふるさとショールステイができた。2日位行ってもらいたい。泊まりだとは言わないように。

柳澤様・今はご飯を十割食べている。吐いた原因は分からないがそろそろ退院だと思う。

柳田CM・参加できなかった家族と、今後の方針を考えていきたいと思えます。

しおん地域包括、越智様・H28・4からヘルパー・デイサービスが「支援1・2」の方が介護保険から外されます。このため別の受け皿となるサービス事業所がなくなり、ボランティアさんの力が必要となつてきます。H28・4月から再び大きな変化があると思えます。

### 移り行く市内観光

延べにして約六日間、桜見物に出掛けました。青い空一杯の桜、満開の桜と、日本の美の結晶と

も言えるこの季節、居ても立つても居られる気持ちで計画しました。雨が降ったらどうしようかと、咲いていかなかったらどうしようかと計画、立案の前には心配でならない日が続きませんでした。しかし何と素晴らしい事に、一度も雨の日に出会う事なく行う事ができました。

参加された利用者さんの徳なのでしようか、計画日毎に行き先を変え、目新しさを感じて頂くためにも新しい公園、新しい場所を選び、設定しました。まずは近くの公園を経由して川崎大師公園に行き一周です。始めの頃はほんの少ししか咲いていない日もありましたが、日毎に、まるで私達を待っていたかのように見事に咲き始めました。殿町の桜トンネル(勝手につけています)、中瀬公園から多摩川の戸手に向かい川辺のひんやりとした水分の多い空気を肌を感じながら、昔から有名な六郷の渡し場の記念碑脇をすり抜けて、東海道は川崎宿を横切り大きく変容した川崎駅、ラゾー

### 近所の公園の桜

ナに向かう沿線の桜並木をしばし車を止めて堪能し、今も変わらぬ桜の木と、そり立つ近代化されモダンなビル群を眺めながら、京急川崎駅を横目に見ながら旧東海道に戻り、今は石の碑が点々と設置されている。・・・。当時は大名が通過しただろうと思われる道を通り抜け、川崎宿の思いを残す資料館を経由して八丁の弟子達との最期の別れとなった記念の場所に立ち寄り、俳句に接して昔を偲び、思わず手を合わせた利用者さんもいらっしゃいました。それから現在も興行中で昔から続く大島劇場に車を寄せて木戸番より、演目、入場



料、役者等の雰囲気を感じて頂き、最後に桜川公園に車を回し八重桜、ソメイヨシノ、しだれ桜等の各種の桜を観賞しました。この企画は桜の見物だけではなく車内ではみなさん饒舌になり賑やかそのものでした。或る人は桜を見ながら何かつぶやいている、又或る人は世の中の変化に感嘆しているといった様子でまるで小学生の遠足さながらでした。

一瞬静かになる時があると、表情におだやかさが戻り、昔を回顧し思いを寄せている様子がわかりました。市内観光、史跡を訪ね桜を見物し、もう二度と見られない思っていた。本当にありがとう、ありがとうございますの言葉をたくさん頂きました。私自身皆さんに喜ばれて嬉しく思いました。

触れる機会であったように思えます。外の社会を肌で感ずる事により心が活性化し、もつともつと長生きして頂ければとつくづく感じ、次なる機会につなげて行きたいと考えます。

デイケア室 瀧口

初めまして、3月より柳田デイサービスにて個別機能訓練指導員として勤務しております前田崇秀と申します。

高年齢者に対しての機能訓練の目標は身体機能向上だけでなく、認知・精神機能の維持や加齢に伴う心身機能の低下を緩やかにすることも含まれます。一人ひとりの症状・環境に依りたりハビリティを提供し、利用者様の主体性のある生活や介護量の維持・軽減に繋げていきたいと思えます。

それを踏まえ、最近読んで面白かった「脳を鍛えるには運動しかない！」という本を少し紹介します。著者はハーバード大学医学部の博士で開業医としても活躍しており本書は米国でベストセラーになっていきます。

アメリカ・イリノイ州のある学区では、1時間目の授業の前に「0時間体育」の試みを始めたところ参加する生徒の成績が上がり、4年に一度行われ世界38カ国の生徒が参加するTIWSSという数学と理科のテストの結果、世界一になった。その理由は運動と脳の関係にあった。運動すると気分がスッキリすること

は誰でも知っています。けれどもなぜそうなるのかわかっていない人はほとんどいませんが、「運動と脳」の関係に神経科学の視点から初めてしっかりとメスを入れ、運動するとなぜ学習能力が上がるのか、のみならず、ストレス、うつ、ADHD依存症、ホルモン変化、加齢、認知といった人間の生活・人生全般に影響

を及ぼすのか、運動がいかに脳を鍛え、頭の働きを取り戻し、気持ちを上げるかを解き明かしてくれます。

デイサービスでは午前中のプログラムとして「200回体操」を一人ひとりの体調・状態に合わせて、声を出し、皆で励まし合いながら行っています。この体操は身体にも脳にも効果的で、自分の役割の一つとしても、この体操を皆様が継続して取り組めるよう、利用者様によつては

残存能力を活かして参加できるように努めていきたく思います。どうぞよろしくお願い致します。デイサービス 前田

先日、デイサービスの玄関から突然「すいませくん」と子供の声がしました。

予期せぬ来所のわけをきくと「交流会のときに遊びにきていいよって言われて、先生も行ってきなつて言ったから、来てみました」とのこと。以前旭町小学校との交流会を行っ



たときに参加していた子供達が、春休みに遊びに来てくれたのでした。

スタッフも、もちろん利用者さん方も大歓迎。ちようど朝の会を始めるところだったので体操の輪に加わってもらおうと、利用者さん達もいつも以上に張り切って体を動かして、子供達に「こうやるんだよ」と気遣いもみせていました。

体操の後は、回想法の紙芝居。子供達が読み手を引き受けてくれたおかげで、いつも以上に紙芝居に視線が集中。回想を話しをするよりも、子供たちが上手に読めるか心配する親たちのような雰囲気となりました。子供達も、楽しんでくれたようでした。

普段私達は介護を通じての地域貢献を目指し、

文化祭や交流会などを行い、次世代に高齢者の体験やメッセージを伝えます。しかし我々が発信しているメッセージが届いているかどうか、先日の事件などもあり不安になっていった時期の「ちゃんと伝わっていますよ」と言わんばかりの子供達の来所を、大変嬉しく思いました。

今後とも、子供たちと高齢者の架け橋となれるよう、より良い交流会、地域貢献を行っていききたいと思えます。

(柳田デイサービス

古谷)

## 定 定 定 定 定

この度、4月からの介護保険制度の改正に伴う介護報酬改定に基づき、利用料金の改定を行わせていただきます。



基本単位(料金)の改定その他、新設された「認知症加算」「中重度者ケア体制加算」を算定させていただきます。ご了承ください。

基本単位に入浴・個別機能訓練加算・中重度者ケア体制加算・昼食代を加えた基本的な1日の利用料金の自己負担額の比較は以下の通りです。

要介護1 1365円

が↓1383円

要介護2 1501円

が↓1512円

要介護3 1636円

が↓1643円

要介護4 1769円

が↓1773円

要介護5 1905円

が↓1903円

また、主治医意見書の「認知症高齢者日常生活自立度」がⅢa以上の方は、認知症加算として1日60単位(67円)が加算されます。

介護予防の方は

要支援1 月2213円

が↓月1837円

要支援2 月4432円

が↓月3765円

に、利用回数分の昼食代を加えた金額が自己負担額となります。

この他、個別機能訓練加算Ⅱを算定させていただきます。詳しくは、制度改正に伴い、より生活に密着した訓練を行える様、機能訓練指導員が家屋調査をさせていただき、3ヶ月に1度ご家族に直接説明させていただきます。

ご不明な点は職員までお尋ね下さい。

「思い出を語る紙芝居」

### 「思い出を語る紙芝居」

柳田デイサービス、柳田デイケア、グループホーム旭町では、先月から紙芝居を軸にした回想法を取り入れました。今回はデイサービスでの様子をご報告いたします。

今回使った紙芝居は、単なる民話や童話のようなものではなく、高齢者の話をきき、お話しをききかけとなるよう作られた介護用の紙芝居です。田舎の山でお母さんと遊ぶ女の子の四季を描いた話、戦中・戦後の困難な時代を生き

た兄弟の話、火事から子猫を助けた親猫の、親子の絆の話など、利用者さんの幼少期や子育ての時代に舞台設定がなされた話が中心です。

いざ実践を始めると、想像していた以上に話が弾むことに驚きました。普段あまり自分の幼少期を語らない方も「私の田舎でも、そんな風に栗拾いをしたよ。近所に優しいおじさんがいて、お母さんと一緒に拾わせてもらったなあ」「私も山で遊んだよ。昔はかけっこが早かったのが自慢だったんだ」と、昔を懐かしんで次々に思い出話が膨らみます。

ある男性からは「家の近所が東京から来る子供達の疎開先だった。親をなくした子供達もいて、その話のように苦労をしていた。みんな助け合って暮らしてたんだよ」という、普段聞けない自身の体験をお話しいただきました。

またある女性からは「家族を養うために、弟や妹を背負って学校に行った。それでも皆勤賞で優

等生で褒められたよ。尋常小学校だけじゃいい仕事に就けないから、高等小学校に行く学費を稼ぐために、今でいうアルバイトをしたよ。」という、当時10歳とは思えないほど立派な考えと行動力に、他の利用者さんからもスタンプからも感嘆の声が上がりました。

回想をして昔を懐かしむだけでなく、利用者さん同士の思い出話に花を咲かせ、絆を深めるきっかけになる取り組みとなっています。

(柳田デイサービス

古谷)

### 山茱萸が花から青葉へ

